

芳ヶ平自然休養林の保全活動

吾妻森林管理署 森林技術指導官 中園 昭博

1. 背景及び目的

芳ヶ平自然休養林は、上信越高原国立公園の特別地域に指定されています。芳ヶ平自然休養林にある芳ヶ平湿地群は、中之条町と草津町に広く広がり、標高1,830mに位置し、面積は約960ha及び春から秋にかけて、一面に咲き誇るワタスゲやナカマドの紅葉などの自然が満喫でき、多くの希少生物も生息していることから平成27年5月に、ラムサール条約湿地に登録されました。

その自然を保全するために、平成27年12月に芳ヶ平湿地群ラムサール条約連絡協議会が設立され「湿地の保全」、「湿地の賢明な利用」、「交流・学習」を推進するため、地元住民のボランティア等の方々により保全活動が、現在にわたって行われてきました。



芳ヶ平自然休養林（日本国道最高地点から望む）

2. 芳ヶ平湿地群の保全活動

これまで行ってきた、芳ヶ平湿地群の保全活動における取り組みを紹介します。

芳ヶ平湿地群の上流部の志賀草津道路の沿線には、「生態系被害防止外来種」（ハルザキヤマガラシ）が繁茂しており、ハルザキヤマガラシの実が結実すると約2,000粒の種が飛来し芳ヶ平湿地群の生態系への影響が高いことから、芳ヶ平湿地群ラムサール条約連絡協議会の会員の方々や、地元住民のボランティア等の方々により、毎年6月中旬にハルザキヤマガラシの駆除作業が実施されています。作業は一株一株、手で根元から抜く地道な作業ですが、多くのボランティアの皆さんのおかげで、年々その数は減少しています。

また、利用者に快適に利用していただくよう、吾妻森林管理署の職員で野営場及び遊歩道の草刈り等、毎年行っています。



職員による野営場の草刈り



芳ヶ平湿地群（ドローンによる撮影）



一面に咲き誇るワタスゲ

3. 今後に向けて

最後に、芳ヶ平自然休養林の芳ヶ平湿地群の保全活動により、芳ヶ平湿地群ラムサール条約連絡協議会（環境省・吾妻森林管理署・白根山系の高山植物を守る会、中之条町・草津町）、地元ボランティアによる継続した保全活動により芳ヶ平自然休養林の生態系を守り美しい自然を保全してきました。

今後も保全活動を継続し貴重な芳ヶ平自然休養林の自然を後世に残して参ります。



芳ヶ平に生息するオコジョ